

ココフリ



きょうせい まな むげんだい
- 共生、学びは無量大 - 福島市「心のバリアフリー」
推進キャッチフレーズ

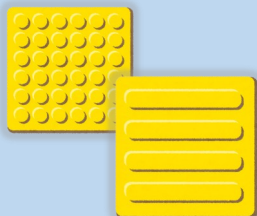
《特集》

10月は、
「心のバリアフリー」
推進強化月間です!!



考えてみよう！一人ひとりにできること

知ること、気づくことは、
「心のバリアフリー」の第1歩！



点字ブロックの上に
自転車を止めたり、
立ち止まったりする

視覚に障がいのある方が、障害物により、転倒や事故の可能性が高まります。

盲導犬に
声を掛けたり、
撫でたりする



盲導犬や介助犬の集中力が切れてしまい、使用者に危険が及ぶ可能性があります。

いつの間にか
“バリア”を

作り出しては
いませんか？

車いすマークがついた
駐車スペースに、利用証
の掲示なく駐車する

施設を利用するために、乗降のための十分なスペースや歩行距離の短縮を必要としている方がいます。



混雑時、電車やバスの
優先席付近で
スマートフォンを使用する

人との距離が近くなるため、電子機器の利用がペースメーカー等の医療機器へ悪影響を及ぼす可能性が高まります。



🔍 福島県

おもいやり駐車場利用制度

福島県HPはこちら▶





『知る？知る！
心のバリアフリー』
コーナー Vol.4

< お互いに、大切にしたいこと ② >

～ その胸のドキドキも、
相手のことがわからないのも、「お互いさま」～

想像してみよう①

困ったとき「助けて」と
言えますか？ →

「助けて」と言うときに必要な『勇気』の量は、「何かお手伝いできますか」と声をかけるときと比べてどうでしょうか。この胸のドキドキも「お互いさま」ですね。

想像してみよう②

相手の気持ちが
「正確に」わかりますか？ →

障がい等の有無にかかわらず、困りごととは何か、どんなサポートが必要か・できるかは人それぞれです。また、場面や状況によっても異なります。実際聞いてみないとわからないのも「お互いさま」ですね。

心のバリアフリーのキーワード、「相互」には、一方的な押し付けや要求ではないこと、また、支え手側と受け手側というような役割の固定がなく、分け隔てなく対等であることが込められています。

どちらの立場にもなり得るからこそ、お互いに『お互いさま』を大切に♪



ご報告

令和5年度 心のバリアフリー推進隊の活動が始まりました！

昨年度の推進隊からの意見をもとに増員し、今年度は合計10名のメンバーで、イベント等でのPR活動やミーティングでの意見交換を行っています。

今後の活動にもご注目ください！！



「心のバリアフリー
出前講座」
@推進隊ミーティング





にじいろフェスタ
@道の駅ふくしま

活動に参加した推進隊からのコメント

- ・初めはなかなか声をかけられなかった
- ・福島には優しい方がたくさんいると感じた
- ・就労支援事業所で働く方のお話が印象に残った
- ・実体験を交えたお話を聞いて、日頃の生活に活かせそうな点が多くあったので、意識して行動してみたい・・・など。



「ここフリ 
 第6号」は
令和5年11月頃
発行予定です！